

令和4年度 学校自己評価シート(教師)

令和5年2月22日

兵庫県立宝塚高等学校 学校評価委員会

		4・・・よくできた	3・・・できた	2・・・あまりできなかった	1・・・できなかった		
領域	評価の観点	評価項目	実践目標		評価	昨年度	
学 校 運 営	信頼され 地域とともに 生きる学校づくり	学校・家庭・地域が連携するための情報発信	本校の特色と取り組みを積極的に広報するために、ホームページや学年通信等を通じて情報発信を行う。		2.8	3.0	
		学校評議員会等を活用し、提言や意見を参考にした学校運営の推進	前年度の学校評価結果や学校評議員会、育友会等で得た意見・提言を参考にし、きめ細かな学校運営を行う。		2.5	2.8	
		地域や関係機関と連携した安全で信頼される学校づくり	地域や近隣の学校、関係諸機関との連携を図り、講師を招聘したり情報を共有し、地域に信頼され愛される学校運営を行う。		2.8	3.0	
	心の通い合う生徒指導 ＝心の通い合う 明るい学校づくり	生徒指導方針の確認と指導体制の確立	年度当初に生徒指導方針を確認し、全職員で生徒指導に取り組む体制を確立する。		2.5	2.9	
		生徒の内面理解と心の通い合う指導方法の確立	心の通い合う生活指導を目的として定め、家庭と密接な連携を図りながら生徒指導を行う。		3.1	3.2	
			個人面談の実施やキャンパスカウンセラーによる教育相談を活用し、生徒の内面理解を図る指導法を確立し展開する。		3.4	3.4	
	進路指導	進路指導体制の充実	3年間を見据えた進路計画を確立し、「進路のしおり」を基に全職員による進路指導体制を充実させる。		2.6	2.8	
			定期的な進路ガイダンスをはじめ、生徒の進路相談に適切に対応するため、個人面談等を充実させる。		3.0	3.1	
		職業観・勤労観の育成と進路意識の向上	生徒の将来の進路を見据えたキャリアガイダンスを充実させる。また、生徒の職業観・勤労観を育成するため外部講師による進路講演会等を企画・実施する。		2.9	3.2	
		主体的な進路選択及び実現能力の育成	HRや学年集会、「総合的な学習(探究)の時間」などで、生徒に自らの在り方、生き方を主体的に考えさせ、進路を実現するための能力を身につけさせる。		3.0	3.1	
	教職員の 資質の向上と 実践的指導力の 向上	実践的指導力の向上	授業公開や研究授業の実施、シラバスの作成等による魅力ある授業づくりに取り組む体制を整え、全教職員が指導力向上に努める。		2.6	2.9	
		計画的な研修会の実施	危機管理・進路・教務・生徒指導・保健関係等の校内職員研修を計画的に実施し、教職員の資質・能力を高める。		2.8	2.9	
		社会の変化に対応した教育観の育成	職員が保護者や地域住民の要望や意見を把握し、社会の変化や地域の要望に対応できるよう能力を高める。		2.7	2.8	
	事前の安全対策 と 危機管理体制の 確立	防災・安全教育	「危機管理マニュアル」を作成し、役割分担の確認、事前の安全管理の徹底及び危機管理体制を確立する。		2.5	2.9	
		地域・関係機関と連携した危機管理体制の構築	地域・関係機関との連携を密にし、危機管理体制及び協力関係を築く。		2.6	2.7	
施設・設備の保全		教室をはじめ体育館、グラウンド等各施設を整備し、安全性の確保と学習環境の整備をする。		2.6	2.9		

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	評価	評価
学校運営	学校運営全般	学年及び部の円滑な運営	教育目標の具現化のため、各部・学年の重点目標と具体的な取組みを計画的に推進する。	2.9	3.1
			全職員が個々の分掌を意欲的に責任を持って遂行することで、「人づくり」に一丸となった教職員体制をつくる。	2.6	3.0
	育友会活動との連携	学校と育友会の協力体制の確立	保護者に学校行事への参加や授業参観を呼びかけ、学校の取組みを理解していただくとともに支援と協力体制を確立する。	2.9	2.9
教育課程	学力の向上	学力向上への工夫と実践	公開授業週間の実施や授業評価をし、指導技術の向上を図る。	2.6	2.8
	各教科の取り組み	各教科の工夫と実践	公開授業や研究授業を通して、積極的に効果的な指導方法を研究する。	2.4	2.9
	総合的な学習(探究)の時間	内容の工夫と進路指導との連携	進路指導と連携した「総合的な学習(探究)の時間」の実践について、内容の充実を図り、生徒の主体的に学ぶ意欲を向上させる。	2.9	3.1
	個に応じた学習指導の在り方	指導形態・方法の工夫	生徒の多様化が進む中、習熟度別授業や少人数指導を積極的に導入し、基礎基本の確実な定着と学力向上を図る。	2.9	3.2
			シラバスや年間指導計画を作成し、生徒が自ら、関心・興味を持って、授業選択が出来るようにする。	2.9	3.2
特別活動	生徒の自主・自律の精神を育む	生徒会主催の行事を実施し、計画・立案・実行を責任をもって行わせ、リーダーシップの養成と生徒の自主・自律の精神を育む。	2.9	3.4	
課題教育	人権教育	互いを思いやり尊重し、命や人権を大切にする心の涵養	3年間を通して計画的に人権LHRを実施する。また、特別支援学校との連携事業を実施するなど、生徒の人権意識を高揚させるために適切な人権教育を行う。	2.9	3.2
	環境福祉教育	共に生きる社会の構築や環境を守ることへの理解を深める指導の推進	福祉施設との交流や奉仕活動を通して、生徒の福祉に対する関心を高める。また、日常の清掃活動や地域の清掃活動を通して環境教育を行う。	2.7	3.0
	学校の特色化	特色類型における教育課程上の工夫改善	平成27年度に導入したヒューマンサイエンス類型について、生じた課題を精査し、充実・発展させる。	2.5	2.6
		中高連携強化	地域の中学校と定期的に連絡会を実施し、情報交換や連携を深める。学習活動や部活動での交流を図る。	2.6	2.7
		地域貢献事業の充実	「福祉・ボランティア活動」の実践と地域環境整備の実践(例:校外清掃、ジュニアテニス教室)を通して、地域に本校の取組みを積極的にアピールする。	3.0	2.9
国際交流活動の推進		国際交流活動を積極的に推進し、生徒の国際的視野の拡大を図る。	2.2	2.4	

昨年度より0.2以上良くなった項目は青背景
昨年度より0.2以上悪くなった項目は赤背景